

- 問1 アメリカ合衆国の西経100度付近に位置するグレートプレーンズでは、年間降水量が約500mm程度と少ないため、大規模な灌漑農業が行われています。地下水をくみ上げ、自走式のスプリンクラーを中心に軸の周りに回転させて散水する、上空から見たと円形の農場が広がる農業方式を何と呼びますか。 (2015年 大分県公立入試 類似)
1. ドライファーマーミング

2. ボルデル

3. 等高線耕作

4. センターピボット方式
- 問2 1990年代以降の日本において、パートや派遣社員などの非正規雇用者の割合が約20%から36%を超える水準まで大幅に増加しました。このような労働環境の変化が企業や労働者に与えた影響について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 大分県公立入試 類似)
1. 企業が景気の変動に合わせて雇用の調整を行いやすくなった一方で、労働者の所得の不安定さや格差が社会問題となった

2. 正規雇用の割合が非正規雇用を上回るペースで増加したため、若年層の将来的な所得の安定が保障されるようになった

3. 労働力不足を解消するために若年層の労働力率が飛躍的に向上し、正規雇用を中心とした労働市場の改善が進んだ

4. 終身雇用制と年功序列賃金が全世代に浸透したことで、非正規雇用から正規雇用への転換が容易になった
- 問3 「クーリング・オフ制度」が設けられた背景や目的について述べたものとして、正しいものはどれか。 (2019年 大分県公立入試 類似)
1. クレジットカードを利用する際、銀行の預金額以上の買い物が行われないように消費者の支出を制限するため

2. 商品に欠陥があり、消費者が被害を受けた場合に、企業に対して過失の有無を問わず損害賠償を請求しやすくするため

3. すべての売買取引において、契約書を交わさなければ購入できないようにして取引の透明性を高めるため

4. 消費者と事業者の間にある情報の質や量の格差を考慮し、消費者が冷静に判断し直す機会を与えるため
- 問4 国会、内閣、裁判所の三者が互いに抑制し合う三権分立の仕組みにおいて、司法から他権への監視・抑制に該当する事例として正しいものはどれですか。 (2017年 大分県公立入試 類似)
1. 裁判所が、内閣総理大臣を指名して行政のトップを決定する

2. 裁判所が、弾劾裁判所を設置して罷免すべき裁判官を判断する

3. 裁判所が、衆議院を解散させることで国民の真意を問う

4. 裁判所が、国会の制定した法律が憲法に違反していないかを判断する
- 問5 1999年に制定された、男女が互いにその人権を尊重し、性別にかかわらず社会のあらゆる分野において対等な立場で参画できる社会の実現を目的とした法律を選択してください。 (2015年 大分県公立入試 類似)
1. 男女共同参画社会基本法

2. 労働基準法

3. 育児・介護休業法

4. 男女雇用機会均等法
- 問6 紀元前5世紀頃の世界各地の統治形態を比較したとき、当時のギリシャにおける状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2022年 大分県公立入試 類似)
1. ポリスと呼ばれる小規模な都市国家が数多く成立し、それぞれが独立して統治を行っていた。

2. ピラミッドを建設した王のように、神の化身としての絶対的な権力を持つ個人による統治が主流であった。

3. 有力な王や皇帝が広大な領土を一括して支配する中央集権的な国家が形成されていた。

4. 万里の長城などの大規模な土木作業を国家の総力で指揮する、強力な皇帝による統治が行われていた。
- 問7 奈良時代の税制度において、都からの距離と人々に課せられる負担の関係について正しく述べたものはどれですか。都を中心として同心円状に地域の負担を示した資料の内容を踏まえて答えなさい。 (2019年 大分県公立入試 類似)
1. 都に近い地域ほど、都で働く労役の日数が多く設定されていた。

2. 都に近い地域ほど、収穫した米の一定割合を納める「租」の負担が重くなっていた。

3. 都に近い地域ほど、都から遠い地域よりも納める特産物の種類が多く指定されていた。

4. 都に近い地域ほど、特産物を都まで運ぶ往復の移動に日数がかかるため、労役が免除されていた。
- 問8 1990年代以降の統計資料において、社会保障給付費が右肩上がりに増加し続けている背景と、その影響に関する説明として最も適切なものはどれか、次の中から選びなさい。 (2020年 大分県公立入試 類似)
1. 景気の拡大により税収が大幅に増えたため、国債を発行せずにすべての社会保障給付費をまかなえるようになった。

2. 高齢化によって医療や年金の支払いが増え、現役世代の保険料負担や国の財政を圧迫する要因となっている。

3. 共働き世帯の増加により、子育て支援の充実が図られた結果、社会保障給付費の大部分が児童手当によって占められるようになった。

4. 高齢者人口が急激に減少したため、一人当たりの給付額を大幅に引き上げたことで総額が増加した。
- 問9 7世紀前半に法隆寺の造営や釈迦三尊像の制作が行われた背景として、当時の政治的な動きを説明したものとして適切なものはどれか。 (2018年 大分県公立入試 類似)
1. 白村江の戦いでの敗北後、国防を強化するために寺院を砦として活用しようとした。

2. 遣唐使が廃止され、日本独自の文化を形成しようとする機運が貴族の間で高まった。

3. 聖徳太子(厩戸王)や蘇我氏が仏教を重んじ、国家の基盤を整えようとした。

4. 班田収授法によって税収が安定したため、大規模な国立の寺院を全国に建立した。
- 問10 同じ出来事について報じる場合でも、新聞社によって記事の内容や論じ方に違いが見られたり、インターネット上に不正確な情報が混在したりすることがあります。このような状況において、情報を扱う際の態度として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2016年 大分県公立入試 類似)
1. 情報の送り手による偏りを避けるため、個人的な感想が書かれたブログなどの情報のみを参考にする

2. 情報の正しさを確認するために、SNSで最も多く拡散されている意見を正しいものとして採用する

3. マスメディアは常に中立であるため、複数の新聞を比較検討する手間を省き、一つの記事を全面的に信頼する

4. 複数のメディアを比較し、情報がどのような意図や視点で構成されているかを多角的に分析する
- 問11 日本の工業地帯・地域別の統計において、全国の工業生産額の約27.1%を占め、第1位となっている地域の特徴として最も適当なものはどれか。 (2015年 大分県公立入試 類似)
1. 自動車産業の強力な集積を背景に、輸送用機械の製造品出荷額が非常に多い中京工業地帯を含んでいる。

2. 石油化学コンビナートが沿岸部に形成され、化学工業の割合が高い瀬戸内工業地域を中心としている。

3. 古くから繊維工業や金属工業が発展し、現在は中小の機械工場が密集する阪神工業地帯を含んでいる。

4. 印刷・出版業が集積し、東京都を中心とした巨大な消費地に隣接する京浜工業地帯を中心としている。
- 問12 現代社会では、地球温暖化への対策として再生可能エネルギーの活用が求められています。そのうち、木材や生ごみ、家畜の排せつ物など、動植物からつくられる生物資源を利用するエネルギーを何といいますか。 (2018年 大分県公立入試 類似)
1. 化石燃料

2. 鉱産資源

3. バイオマス

4. 原子力

答え合わせ・解説

問1	答え 4 センターピボット方式	乾燥した地域で安定した収穫を得るために、地下水を水源として利用する工夫です。巨大な散水機が円を描くように動くため、農場が円形になるという特徴的な景観が生まれます。アメリカ合衆国の企業的な穀物農業を支える重要な技術の一つです。
問2	答え 1 企業が景気の変動に合わせて雇用の調整を行いやすくなった一方で、労働者の所得の不安定さや格差が社会問題となった	1990年代のバブル崩壊以降、企業は人件費の削減や景気変動への柔軟な対応を目的として、正規雇用よりも解雇や雇止めが容易な非正規雇用を増やしました。その結果、低賃金や雇用の不安定さに直面する労働者が増え、経済的な格差の拡大が大きな社会課題となっています。
問3	答え 4 消費者と事業者の間にある情報の質や量の格差を考慮し、消費者が冷静に判断し直す機会を与えるため	現代の経済取引において、商品知識の豊富な事業者と一般の消費者の間には大きな情報の差があります。特に訪問販売などでは言葉巧みに勧誘され、不利益な契約を結んでしまう恐れがあるため、消費者が契約後に「本当に必要か」を冷静に考え直すことができるよう、この制度によって保護されています。なお、欠陥商品による被害の救済は製造物責任法（PL法）の役割です。
問4	答え 4 裁判所が、国会の制定した法律が憲法に違反していないかを判断する	裁判所は、国会が作った法律や内閣による行政処分が憲法に違反していないかをチェックする「違憲審査権（法令審査権）」を持っています。これにより、他権の行き過ぎを抑制し、法の支配を維持しています。なお、弾劾裁判所を設置するのは国会（立法）の役割です。
問5	答え 1 男女共同参画社会基本法	1999年に制定されたこの法律は、家庭、職場、地域社会など「あらゆる分野」において、男女が対等に関わることを目指しています。選択肢にある男女雇用機会均等法は職場における機会均等を、育児・介護休業法は仕事と家庭の両立を支援する制度を定めたものであり、より包括的な社会のあり方を示しているのが男女共同参画社会基本法です。
問6	答え 1 ポリスと呼ばれる小規模な都市国家が数多く成立し、それぞれが独立して統治を行っていた。	紀元前5世紀頃のギリシャは、エジプトや後に登場する秦・ローマ帝国のような大規模な統一国家ではなく、「ポリス」と呼ばれる自立した都市国家が集まって構成されていました。アテネやスパルタといった各ポリスは独自の統治を行っており、特にアテネでは市民による民主政が発達するなど、広域を支配する君主制とは異なる政治文化を持っていました。
問7	答え 1 都に近い地域ほど、都で働く労役の日数が多く設定されていた。	奈良時代の律令制度では、都からの距離に応じて税や労働の負担が調整されていました。都に近い地域（畿内など）に住む人々は、都までの移動距離が短く、移動に要する日数が少なく済むため、その分、実際に都で働く「労役（賦役）」の日数が多く課せられていました。これは、遠方の地域の人々が特産物などを都まで運ぶのに多大な日数を費やすこととのバランスを考慮した仕組みです。「租」は主に田地の面積に応じて課されるものであり、都からの距離によって収穫量の割合が変わるものではありません。
問8	答え 2 高齢化によって医療や年金の支払いが増え、現役世代の保険料負担や国の財政を圧迫する要因となっている。	高齢化の進行は、社会保障制度を支える側である現役世代（15歳から64歳）の減少と、給付を受ける側である高齢世代の増加を同時にもたらします。これにより、年金や医療、介護にかかる費用が膨らみ、現役世代が支払う社会保険料の引き上げや、不足分を補うための公費（税金）の投入が必要となり、国の財政を厳しくしています。共働き世帯の増加は直接的な給付費増大の主因ではありません。
問9	答え 3 聖徳太子（厩戸王）や蘇我氏が仏教を重んじ、国家の基盤を整えようとした。	当時の有力な政治指導者であった聖徳太子や蘇我馬子は、新しく伝来した仏教を積極的に受け入れ、それを国の統治の理念や新しい技術の導入に役立てようと考えた。この政治的背景が、飛鳥文化という大規模な仏教文化の開花につながった。
問10	答え 4 複数のメディアを比較し、情報がどのような意図や視点で構成されているかを多角的に分析する	マスメディアは政治や社会に大きな影響力を持ちますが、情報の切り取り方や表現には発信者の視点が反映されます。また、インターネットには誤情報も多いため、一つの情報を鵜呑みにせず、複数の資料を照らし合わせる「情報のクロスチェック」が重要です。批判的な視点を持って情報の背景を読み取ることが、民主主義社会を支える市民に求められる役割です。
問11	答え 1 自動車産業の強力な集積を背景に、輸送用機械の製造品出荷額が非常に多い中京工業地帯を含んでいる。	中部地方の太平洋側に位置する中京工業地帯は、愛知県の豊田市などを中心に世界的な自動車産業の集積地となっており、日本の工業生産額において長年第1位を維持しています。特に輸送用機械の占める割合が極めて高いことが、全体の生産額を押し上げる大きな要因となっています。
問12	答え 3 バイオマス	木材や生ごみ、農産物の残りといった生物由来の資源は「バイオマス」と呼ばれます。これらは光合成によって二酸化炭素を吸収して成長する植物などを源としているため、燃焼させても大気中の二酸化炭素を実質的に増やさない（カーボンニュートラル）という特徴があり、再生可能エネルギーの一つに位置づけられています。